最勝四天王院和歌

最勝四天王院障子絵色紙形和歌

蘆屋里撰津

御製

ほたるとぶあしやの里に海士のたく

一夜もはれぬ五月雨の空

大納言

もしほやくあしやのあまのうきねだに

浪にしをれて飛ぶ蛭かな

俊成卿女

いさり火のかげより外に行く蛭

まがふあしやの里のしるべに

有家朝臣

暮れぬとはつげのをぐしをさそはずとも

蘆屋の里に蛍飛ぶなり

具親

いさり火にまがはぬいろの蛍かな

あしやの里の五月雨のころ

「国歌大観」より